

平成28年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	3. 地域教育活動推進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	社会教育課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
経常	単独	計画	0	0	610	実施計画	第3章	心豊かな人づくり、まちづくり	-
							基本施策4	青少年育成の充実	-
									-
							施策2	地域とのふれあいを増やします	-
									-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		765

財源内訳							一般財源
本年度当初要求額							0
本年度当初査定額							765

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・市内小学校の4~6年生を対象とした通学合宿を実施します。</p> <p>・市内小学校の3~6年生を対象とした交流合宿を実施します。</p> <p>・佐倉市PTA連絡協議会に対し、運営研修会、事務等の支援、及び補助金の交付を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・児童の生活体験を通して、主体性、協調性、社会性、生活力の向上等、「生きる力」を育みます。</p> <p>・宿泊体験事業へ学校、家庭、地域の方々に協力いただくことで、地域の教育力の向上を図ります。</p> <p>・学校、家庭、地域の三者が連携して組織しているPTA活動団体に対して支援を行い、地域の青少年の健全な育成を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ・子どもたちの社会性、自主性、協調性が高まり、「生きる力」を育む一助となります。</p> <p>・地域の方に運営等の支援をいただくことで、地域で子どもたちを育て、育む環境づくりに寄与します。</p> <p>・宿泊体験実施や市P連への支援は、学校、家庭、地域を結び、地域の教育力向上にも寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 宿泊施設から通学校までの距離や受入可能人数、職員負担の問題から、希望者全員を受け入れたり、対象を広げることが難しい状況にある。なお、地域の受け皿が育っていないため、直営で継続している状態である。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 学生カウンセラーに対する謝金支出の考え方について、参加費相当額の実費弁償に統一するなど、事業費の圧縮を図った。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 通学合宿は児童の主体的な活動の機会だけでなく、地域の方に支援いただくことで地域全体で子ども達を育む環境作りにも寄与する。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	185	236	△51
11	40	32	8
14	40	50	△10
19	500	500	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	765	0